

総目次(9)

第20巻1号～第41巻12号

- 日本語単語による語音聴力検査の試み……………大和田健次郎・他, 301(37)
- 知覚障害児の自覚的聴力閾値の信頼性……………清水 弘・他, 321(37)
- 聴力の変化とその判定について……………大和田健次郎, 1028(37)
- 誘発電位聴力測定……………田口喜一郎, 245(38)
- 両耳聴の基礎的研究に関する文献的考察……………松崎 力, 387(38)
- 聴覚反応時間に関する実験的研究……………佐藤恒正・他, 477(38)
- 聴覚検査法の意義に関する1考察……………松崎 力, 1061(38)
- SISI テストの臨床的観察……………佐々木治夫, 297(79)
- 耳管機能測定法に関する一考察……………石井哲夫・他, 367(40)
- 条件詮索反射聴力測定装置の改良……………坂部長正・他, 361(40)
- 幼児の聴力検査方法について……………大和田健次郎・他, 351(40)
- 減衰速度変換による自記オージオメトリーの観察……………長谷川浩通, 119(41)
- 減衰ステップ変換による自記オージオメトリーの観察……………長谷川浩通, 941(41)
- 下顎関節弛緩による他覚的耳鳴の1例……………佐野 定敏, 157(21)
- 耳鳴に対する亜硝酸アミル $C_9H_{11}ONO$ 療法……………鮑 健生, 299(21)
- 耳迷路外科の経験(第3報) 耳鳴に対するポルトマン氏手術の效果に就いて……………立木 豊, 89(22)
- 耳鳴について……………北川信太郎・他, 62(23)
- 耳鳴の数値的表現について……………水落 知, 194(23)
- 耳鳴の治療について……………岩田 逸夫, 469(23)
- 耳鳴検査について……………大和田健次郎, 1(24)
- 耳鳴の治療法……………後藤 敏郎, 537(24)
- 耳鳴治療に翼口蓋神経注射を行える例……………本間弥三郎, 542(24)
- アムモニウム塩の耳鳴に対する効果……………山野辺守幸・他, 137(25)
- 耳鳴の遮蔽曲線と聴力との関係……………大和田健次郎・他, 168(25)
- 耳鳴と眩暈を主訴としたヒステリーの1例……………志多 享, 331(25)
- 耳鳴の分類について……………水落 知, 663(25)
- 耳鳴検査法の検討……………大和田健次郎・他, 101(26)
- 耳鳴と聴力について……………水落 知, 105(26)
- 電気刺激(直流及び交流)の耳鳴治療……………水落 知, 105(26)
- 所謂無響室内耳鳴に就いて……………水落 知, 489(27)
- 耳鳴の発生機転……………大和田健次郎, 735(27)
- 耳鳴の発生機転……………勝木 保次, 743(27)
- 耳鳴の数値的表現と分類……………水落 知, 750(27)
- 精神科で扱う耳鳴と眩暈……………竹山 恒寿, 763(27)
- 鼓室神経叢麻酔と切断……………椎津 清彦, 763(27)
- 星状神経節遮断と耳鳴……………大藤 敏三, 769(27)
- ダンティの第8脳神経切除術の所感……………小田 大吉, 778(27)
- 耳鳴の治療……………後藤 敏郎, 785(27)
- 文学と耳鳴・眩暈……………西端 驥一, 796(27)
- 迷路腐骨症例と耳鳴に就ての講義……………後藤敏郎・他, 387(28)
- 所謂神経性耳鳴に対する星状神経節遮断効果について……………佐藤寛太郎・他, 657(28)
- 耳鳴の一統計的観察……………赤池清美・他, 661(28)
- 補聴器の臨床……………永浜武彦, 187(29)
- 補聴器と読唇術の併用に成功した難聴例……………森山静也・他, 401(29)
- 耳鳴のニコチン酸療法小験……………磯野 弘・他, 855(29)
- 鼓膜穿孔と耳鳴……………貝塚 侑, 1020(29)
- 歯牙補綴と耳鳴……………矢崎 正方, 77(30)
- 他覚的耳鳴に就て……………山本常市・他, 708(30)
- 他覚的耳鳴に就いて一特に血管性他覚的耳鳴……………山本常市・他, 853(30)
- 主訴としての耳鳴について……………永浜武彦・他, 27(31)
- 補聴器の装用耳について……………永浜 武彦, 197(31)
- 補聴器使用が残存聴力に及ぼす影響……………松井 亮児, 663(31)
- 耳鳴における精神的因子について……………中沢 恒夫, 1033(32)
- 他覚的耳鳴の1例……………小松 晃・他, 123(33)
- 高血圧症における耳鳴について……………中沢 恒夫, 107(33)
- 慢性中耳炎の耳鳴について……………中沢 恒夫, 35(33)
- 耳鳴の定義と分類……………永浜 武彦, 731(35)
- 軟口蓋の間代性痙攣を伴った

- 他覚的耳鳴症例について…………緒方 聖・他, 1201(37)
- 耳管通気法と耳鳴……………永浜 武彦, 33(38)
- 他覚的耳鳴の2症例—動脈瘤性耳鳴と軟口蓋間代癒性耳鳴—……………佐々木順三, 603(38)
- 耳鳴と難聴との関係について……………中沢 恒夫, 157(38)
- 耳鳴遮蔽検査の可能性について……………永浜 武彦, 469(38)
- 血管性他覚的耳鳴の1例—耳科領域疾患に対する脳血管撮影の診断的意義(2)……………沼倉 昌雄, 931(39)
- 耳鳴の周波数—Masking Method による—……………永浜 武彦, 1069(39)
- 耳鳴の周波数—Pitch Match Method による—……………永浜 武彦, 1177(39)
- 耳鳴の大きさ……………永浜 武彦, 355(40)
- 耳鳴の治療効果を判定する方法について……………永浜 武彦, 431(40)
- tinnogram に関する研究補遺……………永浜 武彦, 895(40)
- 随意性他覚的耳鳴の2症例……………竹越 省一, 443(40)
- 耳鳴治療成績の検討(後篇)……………永浜 武彦, 159(41)
- 補聴器と臨床……………恩地 豊, 601(26)
- 補聴器の進歩……………大和田健次郎, 607(26)
- “Early Hearing Training”の可能性について……………高木 二郎, 223(32)
- 補聴器装用耳の選択に関する1考察……………松井 亮児, 741(32)
- 補聴器による語音聴力検査法……………武山 貢次, 721(28)
- 電気補聴器の適応とリハビリテーション……………岡本途也・他, 969(38)
- 身障2級者に補聴器交付の問題点……………岩田逸夫・他, 329(40)
- 中学校の難聴生徒に対する補聴施策とその効果—ワイヤレスマイク補聴について—……………高原滋夫・他, 665(40)
- 動揺病に対する重曹注射の意義……………長谷川高敏, 43(20)
- 重曹注射による船暈の予防(第1編)……………藤崎 茂己, 48(20)
- 聴覚と音声に関する私どもの研究……………颯田 琴次, 65(20)
- 迷路廻転刺激後に眼球圧迫を加えた場合の脈搏及び血圧の変化……………佐藤笑子・他, 97(20)
- コリオリ加速度と迷路反射に就ての研究……………大和田健次郎, 142(20)
- 耳迷路外科の経験……………立木 豊, 151(20)
- 昨年の宿題報告「迷路の刺激とその影響に就て」の学説に対する余の批判……………石川 旭丸, 209(20)
- 重曹注射による石溶解の理論……………藤崎茂己, 14(21)
- 眩暈を訴えし異常頭位眼球震盪患者に対する重曹注射……………藤崎 茂己, 107(21)
- 余の考案した特発性頭振盪(頸振り病)の治療法に就て……………石川 旭丸, 161(21)
- 垂直性眼球震盪に就ての実験的研究……………大和田健次郎, 288(21)
- 耳迷路外科の経験(第2報)—ポルトマン氏手術の成績に就て—……………立木 豊, 370(21)
- 電気眼震図に就いて……………鈴木篤郎・他, 102(22)
- 1 粘液浮腫患者の異常頭位眼球震盪……………松本 規純, 107(22)
- 迷路梅毒の2例……………山室 重遠, 193(22)
- 耳前庭機能障害を起したストレプトマイシン中毒症3例……………内藤 儒・他, 203(22)
- 温度性異常頭位眼震に就いて……………三好 佑・他, 210(22)
- クエン酸ソーダによる耳石の溶解……………大川内勝治・他, 241(22)
- 船暈予防に対する長谷川氏追試……………豊島 豊, 294(22)
- 半側知覚麻痺を合併した迷路震盪症例……………星 俊子, 315(22)
- 眼振と生理に関する2, 3(スポーツとニスタグムス)……………福田 精, 91(23)
- 爆発による迷路震盪症の2例……………秋山 登, 111(23)
- 重曹水注射により眼震方向転換せる1例……………泉 喜久夫, 114(23)
- 温度性異常頭位眼振と温度性第2相眼振に就て……………高橋 忠敏, 291(24)
- 前庭神経麻痺を惹起せる Streptomycin 中毒の3例……………天岸 太郎, 335(24)
- 人間に於ける体位と眼位との関係(その2)……………鈴木篤郎・他, 386(24)
- 血管性瘻孔症状を呈した1例……………石浦 純一, 229(25)
- 耳石をめぐる2, 3の問題……………佐々木寛・他, 65(25)
- 脈無病の耳科的所見……………市原 正雄, 256(25)
- 振子様眼震症の2例……………後藤 孝彦, 329(25)
- 耳石の本態……………佐々木寛・他, 361(25)
- 視性眼振と姿勢……………時田喬・他, 577(25)
- メニエール氏病に対するポルトマン手術の変法……………山川強四郎・他, 7(26)
- 各種薬剤による廻転後眼球震盪変化について……………柴正隆・他, 21(26)
- 耳石溶解の基礎的研究……………山本常市・他, 211(26)
- 頭部傾斜及び捻転の温度性眼震に及ぼす影響……………高橋忠敏・他, 275(26)
- メニエール氏病の学説と診療の進歩……………切替一郎・他, 587(26)
- 平衡生理学変遷……………福田 精, 645(26)